



主な目次

ふるさと文学散歩 22 佐藤朔太郎と「萩日記」	P4
ズームアップ 池田誠次、中村迪子(萩市)	P6・7
萩とゆかりの人 萩大志館・井関隆行(東京都)	P8
夢追人 安達央貴、兼田知明(萩市)	P9・12

三輪休雪氏は1940年三輪窯に生まれ、03年十二代休雪を襲名。処女作ハイヒール以降、次々と新しい表現の可能性を追求し、07年中国・山東省、09年フランス・パリで大規模な展覧会を開催。

休雪氏の創作に通底する愛と死をテーマにした作品と独特の茶陶を展覧する「陶 愛と死の融合」展が開催中。9月6日(日)まで東京・日本橋三越本店。9月11日(金)～16日(水)福岡三越。

第89号 2009年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

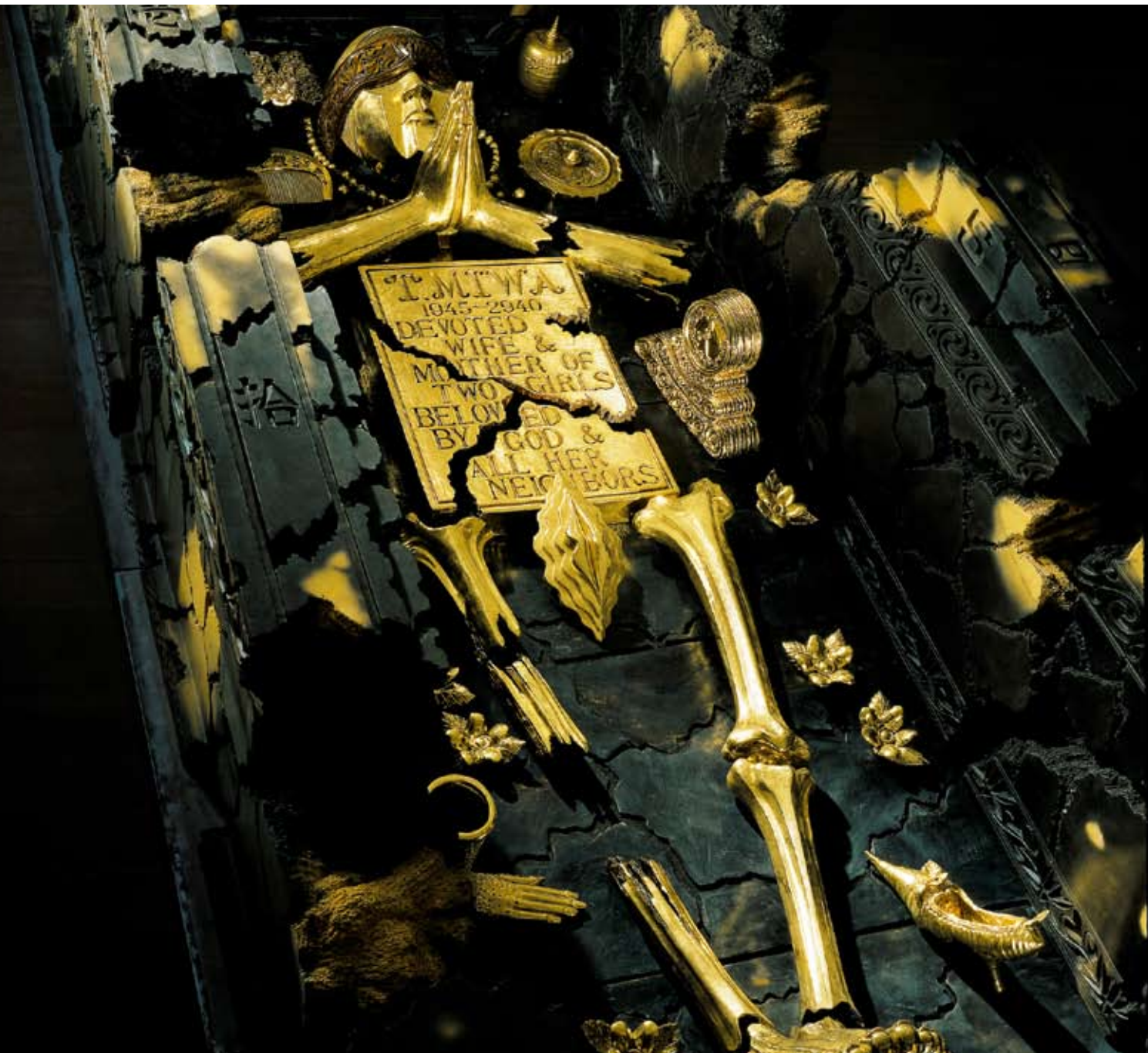
萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

エロスとタナトス

Eros et Thanatos

休雪パリ帰国記念展

古代の人・王妃墓 (1979-93年) 山口県立美術館 所蔵



松陰先生 ゆかりの地 人が集う!

1859(安政6)年10月27日、
江戸で処刑されて150年

10月 吉田松陰先生 150年祭

- 25日(日) 記念式典(市民館)
- 26日(月) 献茶式・記念茶会
(松陰神社)
- 27日(火) 至誠館 開館式
- 28日(水) 至誠館 一般公開

10月
25日

松陰先生は、まさ
に「江戸時代の旅
人」でした。西は長

崎、東は青森までめぐり、詳細
な日記を残しています。そして、
松陰先生が訪ねた地では、今な
お、そのことが大切に受け継が
れ、様々な顕彰活動が行われて
います。

そこで、松陰先生を大切にし
ている全国の皆さんが一堂に会
する。

松陰先生の志を未来に伝えたい。

松陰神社宝物殿 至誠館 一般公開!!

松陰神社に伝わる
松陰先生に関する貴
重な遺品・遺墨等の
宝物を展示・紹介します。

10月
28日

館内は、▽松陰の生涯を時
代ごとに分けて資料で紹介す
る「時代の書院」、▽著述や書
簡類をコンピュータで鑑賞す
る「探求の文庫」、▽小窓から
松下村塾が眺められる「村塾の

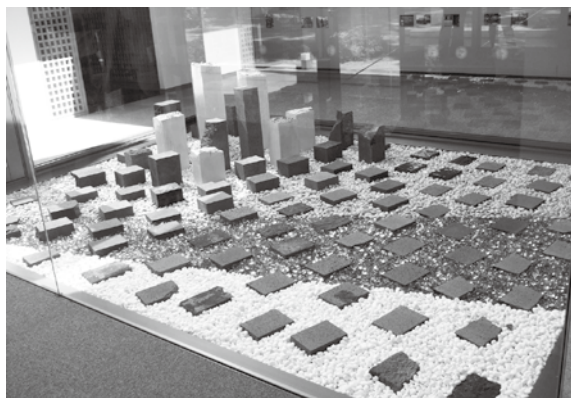
観席」、▽死を目前にした先生
の思いを伝える「留魂の間」の
4ゾーンに分けられています。
▽ロビー(無料)
休憩室、ミュージアムショップ
■問い合わせ
松陰神社宝物殿 至誠館
(0838・24・1027)

し、シンポジウムを開催します。
▽とき 10月25日(日) 午後1
時〜5時
▽ところ 萩市民館大ホール
【第一部】吉田松陰先生150
年祭記念式典・講演(午後1時)
講師 海原徹(京都大学名誉教授)
【第二部】松陰先生ゆかりの地・
人の集い(午後2時30分)
▽内容 青森県弘前市や中泊町、
静岡県下田市など

吉田松陰先生150年祭記念
オリジナルフレーム
切手の販売!

10月
23日

■発売日 10月23日
(金) 萩・阿武の郵
便局
1シート(80円10枚) 120
0円で限定販売



光庭 (志士の庭)

塾生92人と指導者7人にちなみ、
大小99個のオブジェ。
陶柱は陶芸家の三輪和彦、全体
構成は写真家の下瀬信雄が担当

萩(11月)・山口(12月)・東京(来年2月)公演決定!!

創作ミュージカル

「SHOWIN」~若き志士たち~

「松陰先生の原点は、見聞を広
めるため、自分の足で歩き、全
国各地を遊学したそんなアク
ティブな一面にあったのでは。
すべての人々に愛と勇気を与え
た人間・松陰「SHOWIN」の
メッセージを伝えます。



REI-KOさん

吉田松陰先生没後150年を記念し、松陰
先生の生涯と松陰先生が残した現在に生かす
べき数々のメッセージを伝える、創作ミュ
ジカル「SHOWIN~若き志士たち~」を、
萩、山口、東京で上演します。

脚本・演出・振付は、平成9年、萩と会津の和解をテーマにした
ミュージカル「早春賦」を手掛けたREI-KOさん(山口市在
住)。一般公募で集まったメンバー(キャスト60人、スタッフ40人)
の熱のこもった演技をご覧ください。

【萩公演】

■とき 11月21日(土) 午後6
時30分、22日(日) 午後2時
の2回

■ところ 萩市民館大ホール
(0838・25・1234)

■とき 12月23日(水・祝) 午
後2時

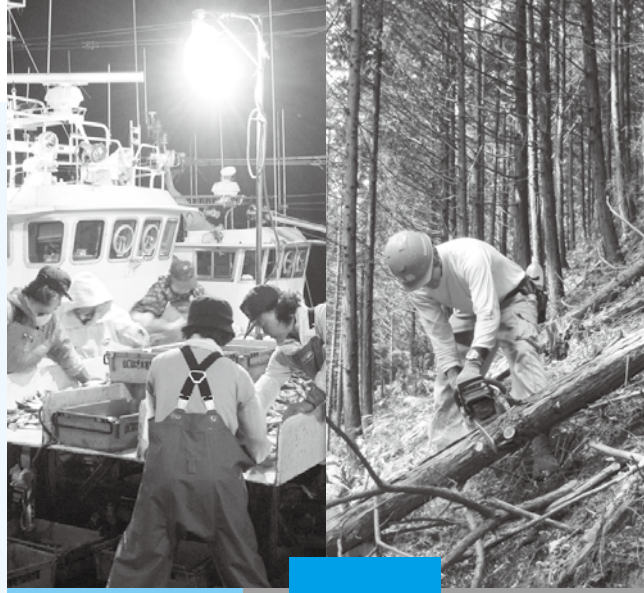
■ところ 山口市民会館
(083・923・1000)

■とき 平成22年2月11日(木)

【東京公演】

祝 午後6時
■ところ 世田谷区民会館(松
陰神社近く、03・3419・3
020)
■前売り券 大人2000円、
高校生以下1000円
■当日券 大人2500円、高
校生以下1500円
※全席自由
■問い合わせ
萩市文化・生涯学習課
(0838・25・3590)





49歳以下に、月最高10万円を3年間

農林漁業 Uターン 後継者に市から助成金

萩市の農林水産業における緊急担い手確保対策。萩市外に転出している農林漁家出身者が萩にUターンして農林水産業にチャレンジする場合、研修費として毎月5万〜10万円を3年間支給する制度を創設しました。

ターニングする方

②萩市内在住の農林漁家出身者で学校卒業後原則1年以内の方

○研修支援費（3年間）

①39歳以下の方には1世帯当り月額10万円（3年間360万円）

②49歳以下の方には1世帯当り月額5万円（3年間180万円）※いずれも4月1日現在の年齢

◆新設の市営住宅を提供します

そこで、9月から萩市外に転出している農林漁家出身の方などを対象とした「ふるさと萩回帰事業」を創設しました。

【事業内容】

○対象者

①萩市から転出している農林漁家出身者で、農林漁家の後継者になろうとする意欲をもってU

◆農林漁家出身以外の方にも

就農・漁業支援制度があります

I・Jターン等により新たに

萩市で就農・就漁を希望される方に対し、2年以内の研修費用15万円以内を支援します。

■問い合わせ 萩市農林水産部

（0838・25・4191）

◆萩市に定住をお考えの方には

萩市では、「空き家情報バンク」を開設し、市内にある空き家を移住希望者の住まいとして利用できるようホームページ等から情報提供を行っています。

萩市への移住を希望される皆さんを応援します。お気軽にご相談ください。

■問い合わせ

【萩ふるさとターンの応援団・定住総合相談窓口】萩市企画課

（0838・25・3819）、定住支援ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/teijyu/>

伊藤博文公没後100年記念事業

伊藤公の没後100年の節目となる今年、広く伊藤公の功績を顕彰します。

◆萩博物館特別展

「伊藤博文とその時代」

■とき 9月12日（土）〜11月18日（水）（詳しくは13ページ）

◆没後100年記念シンポジウム

■とき 9月13日（土）午後1時30分〜5時

■ところ 萩市民館大ホール

■基調講演「伊藤博文と明治天皇〜日本のかたちを作る」

（午後1時30分〜2時40分）

○講師 伊藤之雄（京都大学教授）

■パネルディスカッション

「伊藤博文の虚像と実像〜没後100年の真実」

（午後3時〜5時）

◆伊藤博文別邸パネル展示

「写真で見る伊藤博文公の生涯」

■とき 9月1日（火）〜10月31日（土）午前9時〜午後5時

■ところ 伊藤博文別邸

■観覧料 100円



ふるさと納税

490件の寄付

萩が県内トップ、中国地方でも第2位！

魅力ある萩市の政策を全国にPRし、個性あるまちづくりに活用するため、生まれ故郷などに寄付をする住民税や所得税が控除される「ふるさと納税制度」が昨年5月から始まりました。

萩市では、制度開始にあわせ、ホームページや高校同窓会などで広く寄付を募集した結果、平成20年度の実績が寄付件数490件、寄付金額1350万2500円となりました。

引き続き、会員の皆さんからのふるさと寄付で「頑張る萩」を応援していただきますようご協力をお願いします。

■問い合わせ 萩市企画課

（0838・25・3117）

佐藤朔太郎と

「萩日記」



1973年 さとう工房
(雑誌「YOUNGの旅」に
16回連載後、自費出版)

東京に住む佐藤朔太郎は萩出身のY先輩の好意で、Y先輩の老実父の「招かれざる客」として、ひと夏を萩の地で過ごすことになった。昭和43年の夏のことである。「ここは東萩の駅から歩いて3、40分くらいのところだ。越ヶ浜という地名にふさわしく、広い自動車道路の左手はすぐ海になっ

のだが返事も書かん。」と独り言を言ったあと佐藤に「滞在は何日ですか」「あなたは、わたしの倅とどういう友人ですか。」と問う。「私はYさんの、あの大きさと、仕事への熱心さを常々尊敬しているんですが。」Y老人は即座に「ばかな」と低い声を漏らして沈黙した。

そして「あいつはわしをナメとるんだよ。」これが佐藤とY老人との出会いの会話である。

佐藤は思う。「私は毎夜、Yさんの代理人のように父親の愚痴と叱責を受けるのであろうか。よし、ひとつ戦ってやれ、逃げ出したりするもんか」

次の日の早朝6時。私は臨戦態勢に入り居間に向かったが、老艦長はすでに食卓で待っていた。食卓にはパン、バター、牛乳、トマト、キウリなど艦上生活そのままのメニューが並ぶ。

「かつて巡洋艦の艦長でもあったというY老人には、息子のやり方を承認するわけにはゆかなかった。」「今は夏ミカンの施肥で多忙だから、先に延ばすように言った

艦長は「萩に来られた目的は何ですか」「私は「きょうは笠山に登ったり、嫁泣港を見たりする予定になっ

佐藤には、何も予定はなかったのだが、つい戦闘体制下の気負いからそう言ってしまう。「艦長はそれを承認し、バスの乗り場、その乗車賃、終点から頂上までの徒歩の時間、タクシーのひろいかたなど、こまごまと教示した。」

こうして、佐藤の萩における物語がはじまった。

昼間は志士の旧宅や博物館など各所を廻って見聞し人々とのふれあいを楽しんだ。

夜は一日の行動をY翁に報告しつつ酒と歓談で過ごす。

その日、佐藤は明神池で、勅命を奉じて長州に下った三条実美が、藩主に招かれた際に詠んだ「この

国の濁らぬ水にすむ魚は 遊ぶさまさへ勇ましきかな」という遺詠に触れ、「王政復古を前に、頼みとする長州藩への献詞でもあらうか」と思う。

また笠山では、「大地のほぼ中心に噴火口跡がある。海に向かって天皇の歌碑がある。「秋ふかき海をへたててゆりやかひの する見島をはるか見さくる」いまの天皇さんが、微生物や海中の原始的生物に興味をお持ちのことは名高いが、それにしても、ここからはるかに想いを寄せられた見島のゆりや貝」とはどんな貝類なのであろう」などと記している。

佐藤は堀内を歩く。「よく晴れた夏の日盛りを、額にハシカチをかざして、そこをぶらぶら歩くのが楽しかった。往時の繁栄をしのばせる豪壮な構え。いま

はみかん畑となった広い屋敷跡。こじんまりとした構えの家——当時、人はみな分に応じて生きなければならなかった。

益田家老屋敷という珍しい建物があった。いましも塗り駕籠に乗った主人が、ここへ現れたとて不思議でない。幾世代もの郎党が、世代を継いで住み伝えてきたことを物語っていた。」

Y家に戻って、早速自分で五衛門風呂を焚きつけた。7時過ぎになつて、約束の酒盛りがはじまった。Y翁は、大ぶりの盃にたっぷり注がせて、それを一口ぐらいで飲むのであった。酒が適当にまわったとき、翁は、改まった調子で訊ねてきた。私は、来たな、と思った。「あんたは、あれ(息子)をどう思うとるかね。」

この前は、無欲な人だ」と答えて叱られたが、ひとの人格を一言で表現するのは天才のわざであ

阿武町

活魚基地「奈古活魚畜養施設」が完成

安定的に提供できる
活魚販売の拠点として！

活魚販売の拠点基地として、阿武町「道の駅」下の奈古漁港に活魚畜養施設が建設され、6月7日竣工式が開催されました。完成した活魚畜養施設は、漁業経営構造改善事業などの国や町の補助を利用し、総事業費4200万円をかけて整備したもので鉄骨平屋建、床面積290㎡の畜養施設は、4tの水槽が15基整備され、丸形12基

の水槽は、アジやタイ、ヒラメ、イカなどの魚種が、角型3基の水槽はサザエ、アワビなどの貝類が畜養されます。

また、施設内の床はコンクリートで舗装され、車での乗り入れが可能になり、衛生的で労働力の軽減を図り魚を傷めない工夫がされています。

山口県漁協奈古支店運営委員長の清水栄太郎さんは「安定的に活魚が提供出来る施設に育ていき、道の駅と連携し漁業の核となるよう頑張ります」と挨拶。

今後活魚畜用施設では、年間およそ100tの取り扱いを目指していきます。



△ヒラメを活魚槽に荷揚げ

る。

「Yさんが語学に長じていることはご存じでしょう。専門のドイツ語のほかにもロシア語、デンマーク語までよくします。体育関係の訳書がだいぶあるんです。」

「そんなことでは食えん！あれは、最後の計画などもってやしない！わしは、あれをなんとか怒らしてやろうと、わざと仕向けるんじゃが、あの腰ぬけめ、怒りもしおらん。」このとき私は、この父の愛のかたち（象）を、明瞭に了解した。われわれは三時間かけて一升びんを乾した。

息

子が東京から帰って来た。Yさんはまだ上着をつけて

いて、部屋に入るなり翁の前にすわり、両手を畳において、ふかぶかと頭を下げた。

「お父様。ごぶさたいたしました。お変わりもございませんで。」

「お前も。まあよう来てくれた。」至極当たり前で、しかも非常に珍しいものを見る思いで、私は父と子の久しい対面を瞥見した。翁は、きちつと折った膝の上に両手を置き、息子の脳天に眼を注ぐようにして答礼するのであった。私は、これこそ萩だと思った。

萩の、いや武家の風習なのである。甘えや馴れ合いを忌むのは武士の厳たる作法であるべきは

ずだ。朝食後、翁は資産の帳簿をひろげ「主なところが現在、こんなふうになつとる。いまとなつてみると、地代などはばかして低い。そうかといつて畑は返してくれんやむなく、自分が作る畑は自身の手で開墾しなければならなかつた。まあ、わしはちゃんんとやつてきとるんだが。」考えてみるまでもなく、翁が苦心して守り続けているY家の資産は、後日、息子であるYさんが継承すべきものである。

しかし、Y翁は、ゆえにお前にはかくあつてほしい、という欲求めいたことは片鱗も吐かなかつた。そしてYさんもまた、いろいろ大変でございましたねえ、などと第三者のような調子で、父の説明に受け答えた。

この父子の対話は、みごとに感情処理がなされたスマートなものとして、私の眼にはうつった。

佐藤は文中に何度か萩の古い土蔵造りの格子窓の醤油屋や間口の広い商家の風景を描出して「生きた博物館」という表現で紹介している。しかし彼が心にとめて本当で紹介しなかったのは、このY翁の所作と思考を通して感じた、戦後になつてもなお萩の人々の営みに生き続けている、伝統的な心の位取りの峻厳さではないだろうか。

佐

藤は旅の終わりを次のフリーズで締めくくっている。別れを告げてタクシーに乗るとき、翁が眼を私に注ぎながら言った。「これにこりずに、またいらつしゃい。あんた一人だつていいんだから。」はじめの日、あれほど決意した私の戦闘体制は、いつの間にか解除したのであつたらうか。

著

者、佐藤朔太郎のことを、私は何も知らない。図書館の司書が親切に奥付きの住所等に当たってくれたが、結局何も判らず仕舞だつた。本文中に民俗学についての表現があるので、あるいは研究者系なのかもしれない。

それにしてもこの作品は、萩を少しでも知る者にとっては頗る面白い。佐藤は萩に長期滞在して、緻密な描写で人々の心の機微を綴っている。

友人たちがY翁は当時の土地の分限者、山〇さんか横〇さんだろうと調べてくれたが、末孫にはたどり着かなかつた。

佐藤の萩のひと夏は、書かずにはおれないほどの淡くも深い印象を焼き付けたと思われる。

（高井 誠 エッセイスト 日本ペンクラブ会員）

萩商工高同窓会会長

(有)萩事務機センター 代表取締役

池田 誠次 さん

阿武町奈古出身、萩市椿東中の倉在住
萩工業高昭和45年卒 58歳

平成19年、萩商業高等学校と萩工業高等学校が合併し、実に43年ぶりに萩商工高等学校が再設されました。これを機に商業の「たちばな会」、工業の「からたち会」両同窓会も、今年3月に新設された萩商工高等学校同窓会へ移行しました。



新同窓会設立の経緯

現萩商工高等学校の歴史を遡ると大正時代に設立された明倫商業補習学校が母体となります。その後、第2次世界大戦終結前、商業高校から工業高校へと名前を変え、

終戦後、昭和24年から40年の16年間は現在と同じく萩商工高等学校になります。そして、第1次ベビーブームで生まれた子たちが高校進学期となる昭和40年より、萩商工高等学校は、萩商業高等学校と萩工業高等学校へ分かれ、同窓会も

「たちばな会」「からたち会」と愛称が決まり、昨年度まで活動を続けていました。

新同窓会設立については、第1期となる新商工生が卒業した為のものであります。となれば、「たちばな会」「からたち会」両同窓会は存続させても良いではないかと考えの方も居られることでしょうが、両校閉校、そして合併新設にあたり、商業、工業の卒業生名簿は新設された商工高等学校へ移行され、商業卒業生であつても、工業卒業生であつても、扱いは萩商工高等学校卒業生となりました。

よって、たちばな会、からたち会の代表者による協議の元、「たちばな会」「からたち会」もまた、新設された萩商工高等学校同窓会に移行することが決まりました。この度の総会において、愛称名の募集も行っており、親しみのある名称を期待しています。

同窓会のあるべき姿

同窓会とは卒業生のためにあるものであり、卒業生が母校、在校生、または地域発展のため、力を合わせるためのコミュニケーションの場であると考えます。卒業して若いうちは、同じ学び舎で学んだ友との再会に喜びを感じ、社会人として歳を重ねるうちに、年代

にとらわれない人と人との社会的な繋がりを感じ、その繋がりに感謝するようになってきます。いわば、一つのコミュニティであるわけですが、市内在住の方もそれを感じる事ができますが、市外、県外在住で、同窓会各支部に参加される方は、それをより強く感じておられることだと思います。

そして、その中で、同窓の人が、同郷の人が、活躍していること知り、喜びを感じ、それが生きる励みとなります。決して飲み食いして騒ぐだけで終わるものではなく、繋がりを感じ、これから社会へ羽ばたく若い人たちにも、その繋がりを継承していき、生きる励みにしてもらおう。それが同窓会のあるべき姿だと思います。

校名変更、分離、合併と、時代と共に姿を変えてきた萩商工高等学校だけに、その同窓会もまた時代と共に姿を変えていくことが求められているのでしょう。それに対応し、ご協力くださいますよう、同窓生を含め、地域出身者の皆さまにお願い申し上げます。

プロフィール

奈古小、奈古中を経て、昭和45年3月 萩工業高等学校卒業、48年10月 (有)萩事務機センター設立、58年5月〜平成20年4月 萩工業高校同窓会「からたち会」副会長、平成10年・11年 萩工業高校親師会(PTA)会長

7月11日 萩商工同窓会総会 萩商工体育館(萩市)

萩商業と萩工業が統合し、萩商工が誕生したことから、「萩商工同窓会」が発足。7月11日、第1回萩商工高校同窓会総会が開催され、約600人が参加しました。

初代会長には、旧萩工業OBの池田誠次氏が、新役員には同窓会設立準備委員会で役員を務めた14人が就任しました。

総会では、今後、毎年7月の第2土曜日に開催することや、新同窓会の愛称を募集しており、来年の総会で発表することなどが報告されました。

参加者からは「たちばな会」とからたち会が一つになり、新しい出会いや知恵が生まれると期待しています」との声が聞かれました。

▽副会長 金子博巳(工業昭46年卒)、田中義昭(商業昭49年卒)、大嶋直隆(商業昭56年卒)



きずな
- 継 - の皆さんによるよさこい演舞

中村迪子 先生

今年3月で退職
お元気でご活躍中です



長い間、萩光塩学院の同窓会事務局を担当されてきた中村迪子先生（66歳）が昨年度で退職されました。

中村先生は萩光塩学院高等学校を卒業後、日本体育大学へ進学。昭和41年に萩光塩学院の教員として着任以来、43年間にわたって生徒の指導にあたられました。担当学科は保健体育。部活動では、新体操部、バドミントン部、バスケットボール部男子を担当されました。

43年間の教員生活の中での思い出は「やはり、生徒たちとのふれあいが一番の思い出。また、バドミントン部で、県内のトップクラスが集まる県の合宿に毎年参加したことも印象深いです。

宿舎から練習場まで走っていくなど生徒にとっては辛いものでしたが、がんばっていた生徒たちの姿が思い出されます。」

同窓会事務局は、昭和54年から担当。会報の発行や名簿の整理、関東支部など各支部との連携など多忙な業務をこなしてこられました。「名簿の整理が大変で難しい仕事でした。これからは名簿の空欄を埋めていく作業などはお手伝いしていきたいと思っています。また、各同窓会に出席した際には、先輩や卒業生など、懐かしい人たちに会え、たくさん話ができて、楽しかったです。」

昨年度で萩光塩学院を退職さ

萩光塩学院同窓会 大谷山荘（長門市）

8月10日

今年も大谷山荘にて開催。85人が参加。今年の引き受けは昭和49年度、昭和59年度、平成9年度、平成19年度。小・中学校の同窓会から高雄一雄会長など役員ら参加もありました。

総会では、廣澤洋子会長、佐藤和子校長らが挨拶。その後、すっかり恒例となった大谷山荘の立食形式のおいしい料理に舌鼓を打ちながら、同窓生の親睦が深められました。最後には特賞現金



3万円の福引きが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

れましたが、今年からは、奈古高等学校と萩光塩学院幼稚園に非常勤として勤務。萩光塩学院幼稚園では、体操のおねえさんとして、子どもたちに週1回跳び箱や縄跳びなどを教えています。また、ライフワークとしてバドミントンを続けていらつしやいます。

「シニアの大会で中国大会などにも出場しています。プレーし続けていきたいです。また、子どもたちへバドミントン教室を通じて、自分が持っているものを伝えていきたいと思っています。」

中村先生、これからもお元気で活躍ください。

萩高校同窓会・八八会

8月8日

萩高体育館（萩市）

今年のテーマは、「萩好集結」。引受期は平成6年卒の46期生。母校体育館に600人を超える同窓生が集結し盛大に開催されました。

引受期のカラーである恒例の「同窓会のしおり」は、漫画家でイラストレーターの桐木憲一氏（46期）がデザイン。桐木氏の新作漫画「研修医少女（Residentgirl）」は、集英社のビジネスジャンプ誌で9月2日から連載が開始されます。

第60回目となる総会では、来萩した河村建夫官房長官が「地元の支援で官房長官にも就任させていただいた。この経験を生かし故郷をもっと良くしたい。国家の中枢で故郷を想う。」と祝辞を述べました。

さらに、作家古川薫原作で来春公開予定の吉田松陰を描いた



会場の様子



同窓会のしおり

映画「獄に咲く花」に主演している「高須久」役の近衛はなさんと松陰役の前田倫良さんがゲストとして招かれ、映画のダイジェスト版の上映と共に見所や萩ロケの様子などを紹介するイベントが開催されました。

今回映画に初めて主演した近衛さんは、今まで味わったことのない内容の濃い1か月でした。野山獄の囚人の皆さんは、それぞれ大変個性的で、野山獄がおもしろい空間として描かれています、と紹介していました。

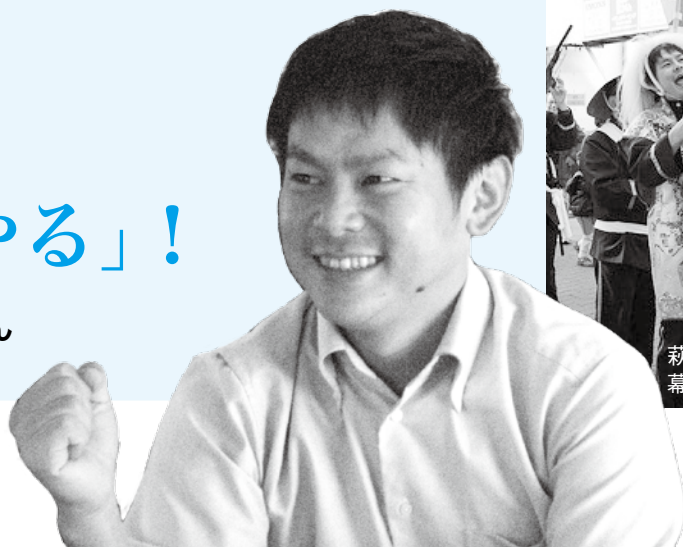


久役の近衛はなさんと松陰役の前田倫良さん

東京で萩のために 今やれることを「やる」!

萩大志館 代表 井関隆行 さん

(東京都世田谷区在住・萩高平成7年卒 33歳)



萩・世田谷
幕末維新祭り

身勝手に故郷を思う

萩で育ち、大学進学を機に萩を離れ、東京で就職。萩に過疎化を引き起こしているオーソドックスな人生を歩みながらも、萩を思う気持ちは常に持っていました。しかしながら、サラリーマンとして日常生活を送り、プライベートの時間はバンド活動に励む日々を過ごしており、遠目で萩を思うことがあっても、萩の為に何かアクションを起こすことはなかったです。

転職となったのは2006年に帰省したときでした。市内の居酒屋

1976(昭和51)年生まれ。95年萩高等学校卒業後、九州芸術工科大学芸術工学部に進学、同大学院を経て、00年NHK入社。07年IT企業・ピーヴィー株式会社に転職。

萩大志館
事務局

〒154-0023 東京都世田谷区若林2-15-10-203
☎090・8628・7147 (代表井関)
<http://hagi.typepad.jp/taishikan/>

東京からの発信

屋で高校ラグビー部OBの同級生数人で酒を飲みながら、近況報告や思い出話に華を咲かせていたのですが、その仲の良いメンバーの中に市役所職員がおり、「過疎化」の話になったのです。東京で生活し、萩の現状を深く知らないながらも、行政の駄目出しをし、「こんなこともできる」「あんなこともできる」とチラシの裏に書き殴って「この紙を市長に渡してこい!」と啖呵を切り、東京に戻ったのです。

東京に戻り、日常生活を送るにつれ、喉に何かがつつかえたような気持ち悪い感覚を覚えるようになりました。その原因は、地元に残っている者に一方的に言っただけで、自分は東京で何もしていないと気付いたからです。そして、東京に住むラグビー部OBを集め、地元活性化の為に、プライベートの時間を使い、地元ではなく東京で何かを発信できないかと考え、話し合いました。

ちょうどその時期と同じくして、東京在住の萩高15、19期卒業生で「萩を愛する会」(仮)を立ち上げようという動きがあり、それなら一緒に東京で萩をアピールしようじゃないかと出来た団体が、後に「萩大志館」となったのです。

そうして、2006年より活動

を始め、東京都世田谷区で行われる萩・世田谷幕末維新祭りや板橋区大山商店街などでの年に3、4回の物産展+観光PRと、個々の職業を活かした特産品の営業との2つの活動を軸に動き、徐々に認知度が高まり、現在に至ります。

東京でできること

現在、地元企業の東京進出のサポートを考えています。萩に拠点を構えながらも、東京で何かをしたい方は少なくないと考えます。ただ、東京に向いて何かをするには、人材を送り込まなくてはなりません。送り込まないにしても、現地で人材を雇う必要がある。そのコストは結構馬鹿にならないものですよね。そこがネックで、思えばあっても踏みとどまっている方も多いと思うのです。そこで萩大志館のメンバーがプライベートの時間を使ってサポートできればと考えています。

そしてもう一つは、イベントを単発で終わらせないよう、メンバー個々で仕事での人脈を活かし、更に萩をPRすることです。萩大志館のメンバーは老若男女総勢90名以上おり、その各々が仕事で培ったコネクションを使用してPRするだけでも大きなPR効果を生みだせると考えます。

今年の取り組みの一つに、都内ジュースバーでの夏みかん生絞りを

ジュース販売のサポートがあります。萩大志館が都内企業に萩の夏みかんを売り込み、その結果、首都圏4店舗での販売につながりました。

また、萩の魚のブランド化事業のお手伝いもしています。平成19年の「萩のまふぐ」、20年の「萩のあまだい」、そして今年の「がんなばれ萩の金太郎」事業で、首都圏におけるマーケティングを担当し、消費者の声を萩に届けています。

何をしないか?

今後の萩大志館の活動について、長いスパンで考えると、「何をしなければならぬか?」だけではなく「何をしないか?」も考える必要があると思います。あくまでプライベートタイムを使って活動している私たちは、時間と労力に限りがあり、その全てに取り組むことはできない。無理をすれば維持が出来ない。ですから、今何をやったら一番インパクトがあり、萩活性化の効果が生まれるのかを見極める視点が必要とされ、「やらない勇氣」も持ち合わさなくてはなりません。それが、萩の状況が変わればそれに即対応できる瞬間の維持につながり、「首都圏で何かやりたい時、頼りになつて話が早い団体」であり続けられるのではないかと考えています。

夢追人

山口県代表・華陵高校エースとして
あこがれの甲子園のマウンドへ

あだち ひさたか
安達 央貴 選手

(萩市椿東中津江出身 17歳)



堂々のピッチング (中国新聞社提供)

今年の夏、甲子園球場で繰り広げられた全国高等学校野球選手権大会に、山口県代表として県立華陵高校(下松市)が初出場。そのチームで、萩出身の安達央貴君(17歳)が、背番号1、エースとして、甲子園で堂々のピッチングを披露しました。

和25)年のセンバツ大会、萩高校の故郷本勝選手(のちプロ野球の松竹入団)以来2人目の快挙です。安達君は、父親の勧めで小学校2年生の夏から野球を始め、萩東中3年のとき、「甲子園に行くなら強豪校へ」と華陵高校へ進学。高校では、勉強、部活、ボランティア活動とメリハリのある生活。野

球部では、副主将として、チームメイトと和を大切にしながら、全国制覇を目標に練習に励みました。甲子園では、8月15日、立正大湘南(島根県代表)との初戦に臨みました。試合は両チームともあと1本が出ない、手に汗にぎる投手戦でしたが、9回裏、相手選手にホームランを打たれ、惜しくも0対1でサヨナラ負け。

打たれたのはホームランを含めてヒット4本、107球の熱投。「球場はあまり大きく感じなかったけど、甲子園のマウンドはキャッチャーが浮き出て見え、投げやすかった」と安達君。甲子園の思い出を聞きました。

——初出場同士の対戦でしたが

「昨年の春のセンバツ大会も経験していたので、落着いて試合

に臨めました。相手も思いきつて試合をやってくれて、楽しい試合ができました」

——9回まで0点が続く試合展開については

「投げていれば味方が点を取ってくれと信じていたから、焦りもなく、自分なりのピッチングを続けていれば勝てると思っていたました」

——9回一死から、サヨナラホームランを打たれたときは

「ホームランを打たれたバッターは前の回にファイブプレーをしていたので(9回表の華陵の攻撃。レフト線を抜けそうな大飛球を湘南の選手がダイビングキャッチ)、気をつけなければいけないと分かっていたんですが、そうだった中で打たれてしまいました。打たれた瞬間、いい当たりだったので、これはやばいなと。『入らないでくれ。入らないでくれ』と祈っていて。入った瞬間、頭が真っ白に……。チームメイトのみんなが集まってきて泣いているのを見て負けたんだなど。試合後、アルプススタンドにあいさつに行ったときすごい声援が聞こえ、ああ、やっぱり負けたんだな、と申し訳ない気持ちで一杯に……」

——応援してくれた方に

「自分一人の力では到底来れませんでした。応援してくださる方がいて、甲子園に行け、そこで自分の思っている以上の力を出せました。本当に感謝しています」

「これからも野球は続けます。大学へ進学して力をつけ、そして上を目指したい」と、力強く、はっきりと語ってくれました。



プロフィール 1992(平成4)年生まれ、17歳。椿東小、萩東中卒業。華陵高校3年。小学校から水泳、マラソンが得意で、運動神経は抜群。足腰のバネを鍛えた。父親は萩市役所勤務で、野球部所属。下松市のアパートから両親が通い、食事や体調管理を支える、まさに家族ぐるみの甲子園出場。182cm、80kg

会費のお支払いは口座振替で、 全国の金融機関で利用できます！

萩ネットワーク協会は、会員の皆様からの年会費で運営しています。今年3月末時点の会員数は1,359人で地域別に見ると、関東が431人で全体の3割を占めて最も多く、関西の244人と合わせると約半分を占めています。また、萩市および山口県の会員が3割を占めています。



ちりめん



赤米



むつみ産
トマトジュース

全員に萩特産品をプレゼント
新たに口座振替にされた方に、萩特産品を進呈する特典を実施します。

会員の皆様には、毎年の更新時期に年会費をお支払いいただいておりますが、更新手続をお忘れになっていたり、郵便局へ年会費を支払うに行くのが不便等の事情により、退会されたというケースも見受けられることから、引き続き、口座振替キャンペーンを継続実施します。

昨年11月から「みずほファクター株式会社」との委託により、都市銀行、地方銀行など、全国ほとんどの金融機関で口座振替が利用できるようになりました。同時に実施した口座振替キャンペーンにより、新たに109人の方が口座振替を利用され、全体で約3分の1(447人)の会員の方が利用されています。(下表)

口座振替のお願い

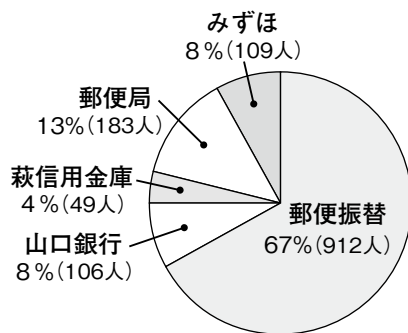
ます。手間なく全国の金融機関で会費を納入することができるよう、口座振替につきまして是非ご協力をお願いいたします。

申込方法など詳しくは、同封の「年会費の口座振替のご案内」をご参照いただくか、事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ

萩ネットワーク協会事務局
(0838)253178、メール
hagi-network@city.hagi.lg.jp

■年会費の支払方法



◇萩の特産品 (下記から1つ)

しそわかめ、うにめしふりかけ、ちりめん、焙りわかめ、夏みかん菓子、赤米、むつみ産トマトジュース

◇「萩ものがたり」

松陰先生のことば、吉田松陰人とことば (どちらか1冊)

◇「萩ものしりブック」1冊

会員投稿



ふるさと萩・小川会
を開催しました

6月7日、「ふるさと萩・小川会」を吉池本館(東京都台東区)で開き、30人の小川出身者が集いました。年齢は違っても、ふるさとと同じため、思い出話やふるさととの近況に話がはずみました。

ニュースで、平山台のリンゴの摘果や萩の夏祭りの話題を聞ききました。都会にいと、故郷のささやかな情報も嬉しくなるものです。

会長 佐伯雅人



学校だより

萩高、萩光塩学院
同窓会名簿を作成

「同窓生の力が、母校、同窓会の最大の財産です」

萩高校、萩光塩学院同窓会では、8月、卒業生の皆さんに、名前や住所等を確認するためのハガキを、各ご家庭にお送りしています。

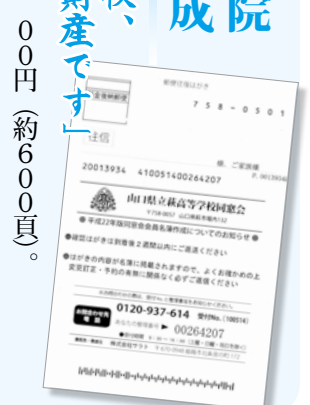
これは、同窓会活動を今後さらに充実、発展させていくためには、会員相互で連絡をとりあい、親睦を深めることが大切と、同窓会名簿を発行するためのものです。

萩高校は、創立120周年を迎える来年、5年ぶりに発行。3万1200人を収録し、価格は4500円(約1500頁)。

萩光塩(0838)2220076、萩光塩(0838)2220782

■問い合わせ

萩光塩(0838)2220076、萩光塩(0838)2220782



7月観測史上、記録的雨量

「中国・九州北部豪雨」市内全域に多大な被害

山口県では、7月20日から21日にかけて降り続いた豪雨「平成21年7月中国・九州北部豪雨」により、防府市や山口市など多くの被害をもたらしました。

（152棟）、市道の法面崩壊等の道路障害、農地の冠水、萩往還の一部が崩壊するなど多大な被害をもたらしました。

萩市においても、21日、市内のほぼ全域で1時間雨量が30mmを超え、萩地域では49mm、須佐地域では53mmを記録し、7月観測史上記録的雨量を観測しました。



車も河川の濁流に沈みました（玉江、7月21日）

江崎地区など萩市で初めて「副振動」による被害が発生

7月15日、山口県北部の沿岸沿岸などで、海面の潮位が急激に変化する「副振動」とみられる現象が起き、田万川の江崎地区などを中心に、住宅などの浸水被害が相次ぎました。

後小畑の海岸で、15日午後4時の満潮時に、通常より59cm

高い1m33cmの最高潮位を記録。

江崎や須佐、樺東地区で家屋への浸水53棟の建物被害、木橋の流失や自動車浸水等の被害がありました。

副振動の発生は予測が困難で、萩では初めての被害発生となりました。



アザラシが萩に遊びに来たよ！

珍事

7月下旬、萩の橋本川、河添河川公園にアザラシが出現しました。新聞やTBSテレビの「サンデーモーニング」、フジテレビの「とくダネ」などのワイドショーでも報道され、ご存知の方も多いのでは。

最初に姿を見せたのは7月25日。体長1.5mほどの若いアゴヒゲアザラシが、川で泳いだり、川岸で寝そべったり。夏休みのため、連日多くの家族連れが詰めかけ、ときたま姿を見せるアザラシに「かわ

いい」と歓声を上げていました。

萩博物館、海洋生物担当の堀成夫研究員によると『アゴヒゲアザラシは、北極海、ベーリング海、オホーツク海に棲むまぎれもない北国の住民。忘れもしない、2002年にたまたま東京都の多摩川にやってきた「タマちゃん」の愛称で人気を博したあのアザラシと同種です。その後05年には同種が徳島県的那珂川に現れ「ナカちゃん」の名で親しまれました。ゴマフアザラシが、06年と07年に



萩市見島や宇部など各地で出没しているものの、アゴヒゲアザラシの出現となると、関東地方以南では「タマちゃん」「ナカちゃん」と並ぶ珍事です」とのことです。愛嬌ある仕草で、萩のまちに明るい話題を残して、8月には姿を見せなくなりました。

萩・井上の「しそわかめ」が

全国ふりかけベスト4

「素材の食感を追求した逸品、ソフトふりかけの草分け」と高い評価

萩・井上の「しそわかめ」が、6月22日（日）全国放映された「和風総本家（テレビ東京系列）」の「ご飯がすすむおいしいふりかけベスト15」で、全国ベスト4に選ばれました。

日本人の心の友とも云えるふりかけ。20代から70代の幅広い年齢のふりかけ大好きな人たちが、「ふりかけ審議会」を開き、上位15品を厳選しました。

鶏そぼろや、ひよこマークでおなじみの「のりたま」が1〜3位

に入るなか、しそわかめは堂々の4位にランクイン。

やわらかく適度な歯ごたえのわかめを素材に、しそ、ごま、かつおだしの味付けで素材の食感を追求した逸品。また、ソフトふりかけの草分けと高い評価を得ました。しそわかめが登場すると芸能人からも「これ知ってる」「おいしいんだよね」の声。萩の人にお馴染みのしそわかめは、ご飯の友として全国のご家庭でも愛されています。



■注文・問い合わせ 井上商店（東浜崎町）（08338・22・0812）

夢 追人

萩焼新進作家 ③

兼田 知明 さん

勝景庵 兼田佳炎窯

(萩市椿東在住、萩高平成6年卒 33歳)

育成施設のない萩焼

今、私には6歳の息子がいます。その息子が「大きくなったら焼物を作る人になりたい。」と言います。もちろん、日によっては「郵便屋さんになりたい。」「おまわりさんになりたい。」とか言うのですが、その中でも「焼物を作る人」が圧倒的に多いです。振り返れば、私の幼少期もそうだったと思います。

窯元で生まれ育ち、萩焼作家となる。多くの萩焼作家さんがそうであるように、私もまた自然とそうになりました。思うに、萩焼は全国的に有名な焼物であるにもかかわらず、萩には焼物の有名な他地域のようには育成施設がない。この環境は特別なもので、自ずと親から子どもへ、子どもから孫へとしかるべく代々伝わるものなのではないでしょうか？また、窯を立ち上げるだけでも家一軒建てるくらいのお金は掛かります。一代で

元を取るにはリスクが高いので、独立ではなく、跡を継ぐことになるのではないかと思います。

備前で学ぶ

本格的に萩焼作家になることを決めたのは、高校2年の進路を決めるときです。そして岡山芸術科学大学に進学し、備前焼を学びました。同じ焼物の世界で、造形の大切さを知り、ごまかしの効かない世界であることを学び、色々な焼物の有名な地域から来ているクラスメイトと、釉薬のテスト、土の調合の情報交換をしました。大学院とあわせ岡山で焼物を学び過ごした6年間で萩焼作家・兼田知明のベースとなっています。

若手というチャンス

卒業後、帰郷し、父・八代目兼田佳炎に師事し、いよいよ萩焼作家としてスタートします。雑用をこなしながら、萩焼を制作する。

一般的な陶芸家の下積み時代と変わらないと思いますが、2年目となる26歳のとき、グループ展に出展しないかというお話を頂き、比較的早い段階で自分の作品を作らせてもらうようになります。

当時、自分の作品が溜まってなく、もちろん日常の業務と雑用をこなしながらでしたので、時間に追われながらの出品作品の制作となり、結構大変な思いをした記憶があります。しかしながら、この作品が人の目に映り、手に触れるものなのだと考えると、下手なものとは作れないと強く思うようになります。萩焼作家としての自覚が芽生える大きなきっかけとなりました。

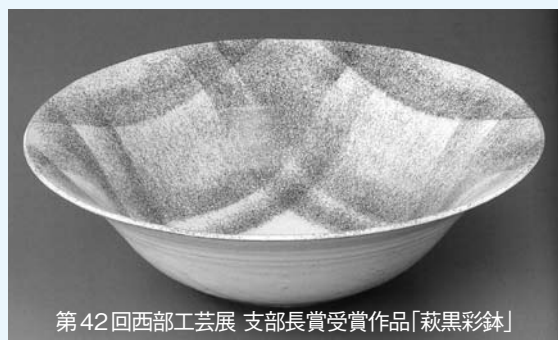
黒彩シリーズ

それ以後、兼田知明としての作品を制作するようになり、目指すところは、著名な先生方の作品がそうであるように、一目見ただけで兼田知明の作品だと判るものを制作することになりました。若手

萩焼作家の多くが追い求めるオリジナリティの確立に向かっていくようになったのです。

当初は造形的なものにチャレンジしてきましたが、私に向いていないのか、制作しても楽しくなく、器を作った方が楽しいことに気づき、現段階では出品作品は器を主に制作し、黒彩シリーズにて少しずつ兼田知明を認知してもらえようになってきました。とはいえ、今後どのようなものにチャレンジし、嵌っていくのかは分からず、より洗練されたオリジナリティを追い求めたいと思います。

努力を惜しまず活動することで評価をしてくれる人が出てくると思いながら、唯ひたすら陶芸活動に励むのみです。



第42回西部工芸展 支部長賞受賞作品「萩黒彩鉢」

1976年生まれ。94年萩高等学校卒業、96年倉敷芸術科学大学に進学、00年同卒業後同大学院に進学、02年同大学院卒業後、同年萩に戻り、父、八代目兼田佳炎に師事する。07年／日本陶芸展入選、西部工芸展・西部支部長賞受賞、現在形の陶芸・萩大賞展入選08年／西部工芸展激励賞受賞、西日本陶芸展第二部大賞受賞

■勝景庵 兼田佳炎窯：萩市椿東前小畑1区
4831-3 TEL 0838・22・6168

「先祖から受け継がれてきた、島の宝を守り続けたい」

今年は丑年 見島ウシがNHKで全国放映

見島ウシと、その見島ウシを守り育て続ける農家の暮らしぶりを紹介したNHKの番組「こんなステキなにつぼんが島の和牛 守り続けて」山口県見島」が、4月全国放映(5月再放送)されました。見島ウシは、一時30頭まで激減しましたが、現在8軒の農家が約90頭を飼育。番組では、7代にわたり見島ウシを育て続けている山根和夫さん(59歳)、恭子さん(80歳)の暮らしぶりと、10か月間育



てた子牛が島から出荷される様子
を、作家の立松和平さんが紹介。

日本人の眼が輝いていた、忘れられた昭和がここにある

宮本常一が撮った昭和の情景 上・下 宮本常一著

宮本常一は生涯の大半を旅に捧げた民俗学者でした。全国各地をくまなく歩き廻り、町や村とそこに生きる人々の姿を文字に記録する一方、メモ代わりに写真を撮り続けました。昭和30年から26年間に撮影したカット数約10万枚の中から、850枚の写真と、説明には宮本の著作や日記から引用。

萩の見島では、漁網の上でうたた寝をする男の子や、稲刈り前の水落しの日、その水で洗濯をする母親のまわりで水遊びに興じる子どもたちなど、人と暮らしに注がれた、なんともいえないあたたかい視線がどの写真にもあります。



天下泰平の夢 海の子はこうして育つ (昭和37年・見島)

萩博物館だより

(☎0838・25・6447)

没後一〇〇年記念

伊藤博文とその時代

9月12日(土)～11月18日(水)



日本は、アジアで最初の近代
的な立憲国家を建設しました。
その過程で、憲法制定や国会開
設などに尽くした初代総理大臣
伊藤博文の功績は大きいものが
あります。日本の近代国家建設
をめざした伊藤博文の軌跡をた
どります。

明治天皇より下賜された金糸
きらびやかな大礼服や、公の最
後の揮毫のひとつで初公開とな
る掛け軸、暗殺されたときに着
ていた血染めのシャツなど激動

の歴史を目撃した80点あまりの
品々を紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
年中無休

※9月4日(金)は臨時休館

観覧料 大人500円、高・
大学生300円、小・中学生
100円

駐車場 普通車66台 1回30

0円(萩市民の方が同乗し、免
許証など市民であることを証明
するものを提示すれば無料)

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(☎0838・24・2400)

「海のシルクロードの出発点」

福建 沈没船、貿易都市 陶磁器、茶文化

8月29日(土)～10月12日(月)祝

福建省沿岸の海で発見された
沈没船から引き上げられた陶磁
器、貿易都市で発見された国際
色豊かな文物などを通じて、海
のシルクロードの拠点・福建の
歴史と文化を紹介。

●浮世絵展示

「相撲絵」

8月29日(土)

10月12日(月)祝



萩藩お抱え力士、阿武松 緑
之助(写真)、越ヶ浜岩五郎など。

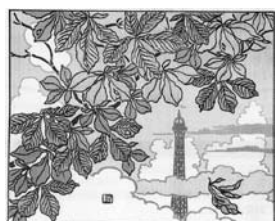
◎フランスの浮世絵師

アンリ・リヴィエール展

10月20日(火)～12月6日(日)

影絵劇の幻想的な作品や、ブ

ルターニ
ユ地方の
自然を明
るい色彩
で描いた
版画など
を紹介。



「エッフェル塔三十六景 扉絵」

◆陶芸展示施設

萩美術館・浦上記念館の隣接
地に、来年秋に開館予定。それ
にあわせ、平成22年度「伝統的
工芸品月間国民会議全国大会」
が萩市で開催されます。

情報アラカルト

海外

■タッチファイヤー 女性芸術家による日本の現代陶芸展

三輪華子の作品が展示されます。

10月9日(金)～2月28日(日)

アメリカ マサチューセッツ ミスカレッジ美術館

■ISLAO エミリア・ロマーニャ日本祭

金子司が参加します。

10月15日(木)～28日(水)

イタリア ファエンツァ カルロ

初 朝水揚げされた萩の魚を、
夕方の食卓に！

※合で「萩のお魚フェア」

まだまだ脂がのった「瀬つきあじ」、柔らかな甘みと旨みいっぱいの「ケンサキイカ」、そして今や「超」のつく高級魚「あまだい」など、萩沖の日本海で獲れた魚を、水揚げされたその日の2時頃、店頭へお届けします。首都圏にお住まいの皆様、ぜひこの機会に萩の味をお楽しみください。

9月9日(水)～15日(火) 午前10時～午後8時

東京都渋谷区道玄坂2・24・1 渋谷・東急本店(地下1階食品売場) 紀ノ国屋渋谷店(03・3477・3111) 渋谷駅から徒歩5分

ザウリ美術館

関東地区

■東京指月会

関東地区の萩高同窓会。

10月24日(土) 午後2時30分～

東京都千代田区 日本工業倶楽部(JR東京駅丸の内北口)

(03・3281・1711)

■萩商工同窓会関東支部総会

関東地区の萩商業、萩工業の同窓会。

11月7日(土) 午後3時～

東京都港区南青山1・24・4 ホテルはあといん乃木坂

(03・3403・0531)

■東京須佐会

関東地区の須佐地区同郷会。

11月14日(土) 正午～

東京都港区高輪4・10・56 日立金属 高輪和彊館

(03・3443・1717)

■岡田裕作陶展

9月22日(火・祝)～28日(月)

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1・6・2 そごう大宮店

(048・646・2111)

■やまぐち地酒維新

山口県各地酒を堪能できます。

萩の中村酒造、岩崎酒造、岡崎酒造場、澄川酒造場、八千代酒造

が参加します。(参加費5000円、先着2000人、要予約)

10月4日(日) 午後6時30分～
東京都港区高輪4・10・30 品川プリンスホテル(メインタワー)
(問) 山口県酒造組合
(083・973・1710)

■下瀬信雄写真展

「風の中の日々」



10月7日(水)～20日(火)
東京都中央区銀座7-10-1
銀座ニコンサロン (03・5537・1469)

■鎌倉市姉妹都市(萩市、上田市、足利市、鎌倉市) 物産展

萩市から、かまぼこ、海産物、夏みかん製品等が販売されます。

両日とも萩大志館による、「金太郎」無料試食会が行われます(数に限りがあります)。

10月9日(金)、10日(土) 午前10時～午後5時(10日は4時まで)

鎌倉市小町1・10・5 鎌倉生涯学習センター

(問) 萩市商工課

(0838・25・3108)

■金子信彦作陶展

10月14日(水)～21日(水)

東京都中央区日本橋室町1・4・1 日本橋三越本店

(03・3241・3311)

■萩・世田谷幕末維新祭り 吉田

松陰先生150年記念萩観光物産展

萩市から、夏みかん菓子、萩焼、地酒、海産物等が販売されます。

10月24日(土)、25日(日) 午前10時～午後6時(25日は5時30分まで)

東京都世田谷区 松陰神社入口若林公園前

(問) 萩商工会議所

(0838・25・3333)

■長州・大江戸スタンプリ

日本橋おいでませ山口館から世田谷区の松陰神社まで、山口県ゆかりの地を巡るスタンプリ。

10月25日(日) 午前9時～午後3時

(問) 山口県東京事務所

(03・3502・3355)

■十二代三輪休雪 愛重展

11月18日(水)～24日(火)

東京都中央区日本橋室町1・4・1 日本橋三越本店

(03・3241・3311)

■萩の器とうまいもの展

金太郎のほか、萩ガラスや雑貨・お菓子・工芸品などを展示販売。金太郎の無料試食や「金太郎ランチ&ディナー」テスト販売も。

11月20日(金)～23日(月・祝)

東京都港区北青山3・6・26 R in (03・6418・7024)

■萩ガラス展

11月25日(水)～12月6日(日)

東京都世田谷区三軒茶屋2・14・

第56回日本伝統工芸展

陶芸家 岡田泰、岡田裕、野坂和左、波多野善蔵、松尾藻風、松尾優子の作品が入選しました。

◆東京展 9月25日(金)～10月4日(日) 日本橋三越本店

◆名古屋展 10月6日(火)～12日(月・祝) 名古屋栄三越

◆京都展 10月21日(水)～26日(月) 京都高島屋

◆金沢展 10月30日(金)～11月8日(日) 石川県立美術館

22 レイン オン ザ ルーフ

(03・3487・8811)

関西地区

■萩焼守繁栄栄寿記念作陶展

栄徹井戸の陶世界

10月20日(火)～25日(日)

京都府京都市左京区南禅寺下河原町61 京都野村美術館

(075・751・0374)

中国地区

■萩商工同窓会広島支部総会

広島地区の萩商業、萩工業の同窓会。

9月12日(土) 午後6時30分～

広島県広島市南区的場町 ホテルセンチュリー広島21

(082・263・3111)

■そごう広島店本館開館35周年記念 三輪和彦 大地を詩う展

新規(再)加入会員

(6月24日～8月25日 44人)

吉村高男さん	(山口県山口市)
西村雅子さん	(広島県府中町)
水津稔さん	(広島県尾道市)
大澤節子さん	(愛知県名古屋市中区)
渡辺裕子さん	(愛知県一宮市)
大石充紀子さん	(愛知県知多市)
眞坂千亜樹さん	(愛知県名古屋市中区)
岡田綾子さん	(埼玉県狭山市)
西平真理子さん	(広島県呉市)
三坂節子さん	(神奈川県茅ヶ崎市)
松尾優子さん	(秋田市)
山本寿三さん	(秋田市)
吉田悦子さん	(秋田市)
川口正人さん	(秋田市)
賀屋純枝さん	(神奈川県茅ヶ崎市)
木戸洋子さん	(秋田市)
伊藤真一さん	(千葉県流山市)
澤本剛成さん	(広島県広島市)
長岡忠孝さん	(広島県広島市)
鈴木康温さん	(兵庫県神戸市)
横木稔郎さん	(秋田市)
木戸孝之さん	(秋田市)

10月6日(火)～12日(月・祝)
広島県広島市中区基町6・27 そ
ごう広島店
(082・225・2111)
■内村幹雄作陶展
10月13日(火)～19日(月)
広島県福山市元町1・1 天満屋
福山店(084・927・2111)

山口県関係

10月18日(日) 午後6時～
山口市湯田温泉 翠山荘
(083・922・3838)
■山口県立山口博物館
○吉田松陰没後150年記念展示
吉田松陰と門下生
山口県文書館の協力を得、没後
150年を迎えた吉田松陰と、門
下生の関連資料を展示します。
9月16日(水)～11月15日(日)
山口市春日町8・2 山口県立山口
博物館(083・922・0294)

萩市関係

■井筒屋1周年記念 郷土の作
家・藤崎恒頼新作絵画展
9月30日(水)～10月6日(火)
山口市市中町3・3 山口井筒屋
(083・902・1111)
■ベアテイル・ペアン作陶展
11月6日(金)～10日(火)
山口市後河原121 ギャラ
リー・ラ・セーヌ
(083・922・4009)
■未来の古典・同時代の邦楽
萩出身の作曲家 山本和智さん
(東京都在住、33歳)が、箏と三
味線のために作曲した作品を披露。
9月18日(金)、19日(土) 午後
5時～解説、午後6時30分～開演
萩市江向 山口県立萩美術館 浦上
記念館(0838・24・2400)
■萩の会展
藤崎恒頼の作品が展示されます。
9月18日(金)～22日(火・祝)
萩市江向 萩市民館小ホール
(0838・25・1234)
■大屋窯SALE
10月9日(金)～12日(月・祝)
萩市椿905 大屋窯
(0838・22・7141)
■ヴィレッジのコンサート
○ベニー・グッドマン生誕100
年記念 ケン・ペプロウスキー
キャロル・ウェルスマン スイン
グ・メッセンジャーズ
ジャズ・クラリネットの巨匠ケ

九州地区

ン・ペプロウスキーと、カナダの
歌姫キャロル・ウェルスマンのカ
ルテットが夢の共演。
10月21日(水) 午後7時、9時(2
回公演)、入場料 7000円
萩市土原291・1 喫茶 ヴィ
レッジ(0838・25・6596)
■現代陶芸薩長連合展
萩焼52点、薩摩焼21点が展示さ
れる予定です。
11月7日(土)～29日(日)
萩市呉服町 旧久保田家住宅
(問) 萩市商工課
(0838・25・3638)
■萩焼ざらりい彩陶庵の企画展
○濱野由美 暖かい…(仮題)
11月20日(金)～29日(日)
萩市呉服町1・3 彩陶庵
(0838・25・3110)
■九州指月会
九州地区の萩高同窓会。
9月12日(土) 午後4時～
福岡県福岡市中央区天神2・6・
42 平和楼
(092・771・4141)
■萩商工同窓会九州支部
九州地区の萩商業、萩工業の同
窓会。
10月24日(土) 午後0時30分～
福岡県北九州市小倉北区堺町1・
8・14 小倉飯店
(093・521・8631)
■陶芸散歩の会会員展 酒器展

出版情報

坂純子の作品が展示されます。
11月14日(土)～23日(月・祝)
福岡県福岡市早良区百道浜1・3
・70 ハイアットレジデンス・ハ
ウス ウィット福岡1F ギャラリー一
番館(092・841・0050)
■岡田裕作陶展
11月17日(火)～23日(月・祝)
福岡県福岡市中央区天神2・1・
1 福岡三越(092・724・3
111)

■「松陰先生のふるさとー維新の
里をめぐるー」改訂版
維新の里地図、史跡解説など。
A5判/96ページ/800円
発行 維新の里づくり協議会
(0838・22・4643)
■産経新聞東日本版 9月13日号
連載コーナー「探訪」で、萩が
特集。夕景、夜景が大きな写真で
紹介。「産経エクスプレス」にも
掲載されます。
■週刊新潮 7月30日号
「しまめぐり」で相島が紹介さ
れています。

『相島の名産はスイカ。』「萩スイ
カ」「相島スイカ」の名で知られ、
年間5万個近く、山口県全体の過
半数を生産する。』
価格 320円





着物ウィーク in 萩

10月1日(木)~12日(月・祝)

御成道界限（萩城跡～田町商店街）ほか市内各所
古の城下町の町並みを今もとどめる、風流の漂うまち・萩。
町並みに似合う着物を着て、まち歩きを楽しむイベント。
期間中は着物のレンタル・着付けもあります。
旧久保田家住宅で1日レンタル4,000円、着付け1,000円。
同時期に、竹灯約1,200基が夜の城下町をほのかに浮かび上がらせます。
田町商店街では、田町萩焼まつり（10月9日～12日）も開催します。

郷土料理レシピ①

萩・阿武町

ウニ飯

材料(4人分)

- 生ウニ
(ムラサキウニもしくはアカウニ)
- 日本酒・しょうゆ・・・適量

作り方

- ①こぶを敷いた釜によく洗った米を入れ、普通のご飯を炊くときよりも少なめの水、それに日本酒としょうゆを適量加える。
(水で戻して細切りにしたいたけを加える場合もある。)
- ②火にかけて沸騰する直前に米の1割程度の生ウニを入れ、炊きあがったらよくかき混ぜる。
※具の増量のために細かく切ったさざえの身を混ぜたりすることもあります。

こだわり

阿武町 塩ウニ又は板ウニを使用。



郷土料理豆知識!

「萩の名物、雲丹、おやき(焼きぬきかまぼこ)に、ちしやなます」と言う言葉があるように、日本海の厳しい自然の中で育ったウニは絶品。生ウニ、しょうゆと酒で味をつけた海の幸いっぱいのご飯。特にアカウニの一大産地であった見島では、旅館や民宿の夕食に「ウニ飯」がでてくる。

イベント情報

- ◆萩市観光課 (0838・25・3139)
- ◆萩市観光協会(0838・25・1750)



萩・竹灯路物語

10月9日(金)~11日(日) 18:00~



萩・魚まつり 金太郎&地魚フェア

10月11日(日) 9:30~



萩往還ワンデーウォーク

10月17日(土) 9:00~



「次世代につなげよう 郷土料理 萩地域版」

萩市、阿武町の郷土料理44点の材料や作り方を写真入りで紹介するレシピ集(A4判、22ページ、300円)を「萩元気食の会」(岡野芳子会長、40人)が発行。